

# 三條別院のご案内

## 三條別院に想う

昼下がり、参る人もなく、ただ松葉幼稚園の子供たちの声だけが遠くに聞こえる別院の本堂にひとり座ることがあります。法要や行事で賑わいを見せているときの本堂と違い、驚くほど静かな、しかしどこかホッとする安らかな空気がそこには漂っています。

本堂に入ると、まず参詣席席の一番前、「ご本尊の正面に陣取ります。静まりかえった本堂の空気をがさつにかき乱しながら腰を下ろして、まずは型どおりに合掌礼拝。しかし、心が静まるわけでもなく、職業的関心(?)から、視線はきよるきよると本堂の内部を見回しています。観察も終わり、五分十分と時間が過ぎていくにしたがって、ようやくかきませた空気が落ち着きを取り戻しはじめ、もとからの本堂の空気と、かすかな調和を見せはじめます。

いたずらに五感を刺激するものの少ないこの場所にぼんやりと座っているうちに、ふと、過ぎし日にやはりここに座ったであろう、顔も知らない無数の念仏者の息づかいを感じることはありません。

お一人お一人が抱えたであろう人生の深い悲しみの中から、よきひとの教えとの邂逅を果たし、確かな信を得て、念仏とともにその人生を生き切っていかれた方々。柱の一本一本にまでしみついたその方々の念仏の音が、今は諸仏称名の声なき声となって、私に信をすすめてくれているように感じられるのです。

昼下がりの別院の本堂は、十七願成就の世界です。静寂の底流になつかしき諸仏の弥陀をほめ給う讃歌が鳴り響き、そこに座る者に「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」と呼びかけてくださる。殊勝な心がけもなくこの場所に座る私にまで、そんな声を感じさせてくれる、そこにこそ長い念仏の歴史を湛えるこの本堂の尊い功德があるのでは、と感じています。

(佐渡組 勝廣寺 濱松 智弘 氏)

## ○次回の「三條別院に想う」は、

関崎 智弥氏(重蓮寺 燕市関崎)より

「ご執筆いただきます」



## ■秋彼岸会・人生講座が執り行われました

去る九月二十四日から二十六日まで、三條別院秋彼岸法要・朝の人生講座が執り行われました。



【人生講座の様子】

二十四日の人生講座には四〇名、速夜には十八名、二十

五日の晨朝には四十名、

日中には二十二名、速夜には十八名、二十六日の晨朝には三十六名、日中には二十一名のご参詣をいただきました。正信偈のお勤めの後には、第十五組浄照寺の土屋真氏、第二十組松韻寺の関根大丘氏、第十九組菓城寺の磯部裕氏、第二十三組明正寺の渡邊学氏、第十三組善行寺の松野秀則氏、第十九組清林寺の高松久磨氏、第十三組専行寺の木村邦和氏より法話をいただき、親鸞聖様の言葉のまぶならず、西洋の宗教家、儀式作法、社会学、儒教、人院生論など、各別講師がさまざまなお話をされま



した。  
泊りがけで聴聞される方や、遠く柏崎から参拝される方、毎日欠かさず参詣される方、いつものお朝事の面々。法要の合間にお話しさせていたたくともありません。また、お彼岸期間中、三条商工会議所主催で別院本堂のライトアップが行われ、青く輝く本堂に多くの参詣者が足を止めていました。

### ■第二十組より花瓶を

寄進していただきました！



このたび、第二十組様から、第二十組宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌お待ち受け大会を縁としまして、別院本堂中尊前卓用の耳附花瓶を一對ご寄附賜りました。花瓶はこの十一月に厳修される、教区お待ち受け法要兼三条別院報恩講にて、御本尊前の荘厳として使用させていただきます。仏法護持の篤い志に衷心より御礼申し上げます。

### ■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」と称し本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけますので、ご参詣いただきますようお願い申し上げます。

また、各寺院の間法会・同朋会等にもご利用いただけます。

なお、前日（二十七日）はお遠夜として、午後二時よりお勤めをしております。

#### 【十月二十八日（木）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念 讚 淘五

和 讚 回口 次第六首

回 向 願以此功德

### ◎今月の法話講師

大久保 州氏（佐渡組 廣永寺）

### ◇今後の法話講師一覧

十一月 池田 陽 氏（第十八組 長周寺）  
十二月 鳴澤 宏誓 氏（第十九組 長福寺）

### ■真宗本廟・御正忌報恩講

#### 団体参拝のご案内

二〇〇四年からの親鸞聖人七百五十回御遠忌特別記念事業である御影堂御修復が完了し、昨二〇〇九年に親鸞聖人御真影の還座式が執り行われました。

往時の輝きが取り戻された御影堂に、是非皆様お参りください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

期 日 十一月二十七日（土）～二十九日（月）

定 員 四〇名

参加費 五万五千円也

締 切 十一月二日（火）

※詳細は案内チラシ（送付済）をご覧ください。

### ■出退作法講習会のご案内

三条教区お待ち受け法要兼三条別院報恩講を目前に控え、当別院では一人でも多くの方々にご参勤を賜りたく標記講習会を開催いたします。

皆様の法要へのご参勤並びに講習会へのご参加をお願いいたします。

日 時 十月三十一日（木）

午後三時より（約二時間を予定）

場 所 三条別院 本堂 旧御堂

内 容 内陣出仕の出退作法 講義・実技

和讃本の取り扱い

参加費 無料

× 切 十月十五日（金）

## ■おみがき奉仕団の「案内」

秋の深まりとともに、お取り越し報恩講が近づいてまいりました。本年は、三条教区お待ち受け法要と兼修という形で厳修されます。

そこで、お待ち受け法要兼報恩講を迎えるにあたって、仏具のおみがきをさせていただき、奉仕団を計画いたしました。

有縁の方をお誘い合わせてご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時 十月二十五日(月)

九時三十分受付 十時より

場所 三条別院 本堂

締切 十月二十日(水)

お申込みは別院までご連絡ください。

※推進員の方々は、教務所より「案内」があります。

## ■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

## ■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私

ちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出会うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願ひ、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたら「相談」承ります。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

### 【日程例A】

午前 十時 入館・院内案内

三十分 開会式

十一時 法話

正午 おとき

### 【日程例B】

午後三時

入館・院内案内

三十分 開会式

四時 お内仏のお給仕

五時 夕事動行

三十分 夕食

七時 座談会

八時 入浴・就寝

午前七時

晨朝参拜

八時 朝食

九時 清掃奉仕

十時 法話

十一時 閉会式

### ◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円

・一泊二日 二、五〇〇円

### ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円

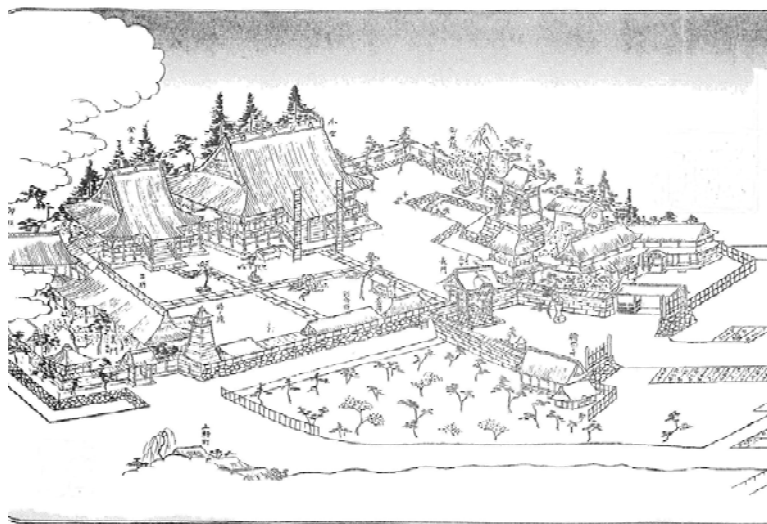
・昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度

## ■三条別院有志の会に

参加してみませんか？

別院を崇敬護持していきたいという願いの下、有志の方々集まり「別院有志の会」を毎月開いております。活動内容としましては、清掃奉仕を初め、法話や座談会(茶話会)等を行っております。現在十余名の皆様によって活動しておりますが、「別院有志の会」ではより多くの方に「参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でも「来院下さいますよう、」案内申し上げます。お問い合わせは、三条別院まで



【江戸時代の別院】